

パネル討論
地方創生と地方分権改革

温故創新

～未来創造に期待を込めて～

多久市長 横尾俊彦

夢と現実の狭間

- * 「地域の事情にあわせ 個性や特性を活かして活性化する。必要な規制改革も進めて改革する」という目標がある。
- * しかし、たとえば、全国自治体の状況をみれば・・・
- * ◆高速交通網の拠点でも工場団地を新たに造成できない
* (同じ面積の農地を確保すると計画しても認められない)
- * ◆ミニ農園付き住宅アイデアも認められない
* (当該農地からの生産物が市場相場に影響を与えるから)
- * その理由も判断も国の規制という壁がある
- * その改革が重要ではないか。

政治へのチャレンジ

本気で地方分権改革ができるか

- * 地方分権改革国家を国是とする かが問われている
- * ◎効率的行政経営で人々が幸福になれる国内政治体制の創造
- * ◎複雑化し迅速対応を求められる国際情勢への国政対応力強化
- * フランス～地方分権化法・憲法条文改正で推進
- * ★改正への努力～①身近な共和国②国と地方の緊密性と補完性の原則③政治の効率性④実験的法規の導入
- * 権限、財源、人材の移譲というポイント
- * 総理官邸のグリップによる主導が重要
- * 低投票率の改善(国民の政治参加)にも資する
- * 不正防止・政治腐敗払拭にも効果(住民による政治行政チェック)

温故創新 スモールトライアル 未来へ向けて

- * 教育 ⇨ 全市一斉に小中一貫教育スタート。学校統廃合。
- * 論語カルタ＋多久学・・・プライド、郷土愛、自信
- * ⇨ カリキュラムなどの規制緩和
- * 既存施設の再生活用＝財源確保×持続可能経営
- * ⇨ 雇用拡大、定住化、交流人口増加、経済活性化
- * 企業誘致＝諸条件緩和×誘致策強化
- * ⇨ 産業力の強化、雇用拡大・・・
- * スローライフ ～ 定住する動機の上位理由
- * でもミニ農園付き住宅～国の規制で認めてもらえなかった

観光・まちづくり～百花繚乱

- * それぞれの地域が個性を活かし自主的な取組を展開することにより、どのようなまちづくりをして地方を元気にしていくか
- * 観光は 國の光を観る ことから……では「光」とは
- * 個性・特性を 輝かせる 煌めかせる
- * 歴史・文化・伝統等 …… 多様な未来への遺産認定発想
- * 百花繚乱の日本～多様で多彩でゆたかな地域色がある
- * 物心ともに豊かな暮らしの実現・創造
- * 収入を確保できる 移動も便利 ヒューマンな交流

こども・子育て の課題と改革

- * 多久市では18歳まで医療費助成、保育料軽減など推進
- * 国としての少子化対策・子育て支援～改善余地ありでは
- * 子ども医療費助成拡大もなかなか進展しなかった経過
- * 過密都市も過疎地も同じ規制ルールでハッピーか
- * 無謬性ルール死守よりも大切な問題解決と救いの手
- * 親子のライフタイムラインに着目して改善策を連続化する
- * 全国に子育ての医療・福祉の協働ネットワーク確立を
- * 子どものための包括ケアシステムとサービスの体制を整える
- * 医療健康情報を早い段階から教える。生涯健康のためにも

地方創生における地方分権改革 の重要性

- * 目の前の問題を解決できるシステムとしての地方分権
- * 自分たちの未来を自ら創造できる仕組みでもある
- * フランス並みにできるか。 権限も財源も移譲可能に

- * 地方創生では、「しごと」が重要。そこに人が動ける。
- * ~豊かな暮らしを可能にする可処分所得実現が重要
- * ~オールジャパンの企業経理でなく、地方ごとに対応。
- * 多様で多彩な地域力の発揮 → もっと自由を